

あすチャレ! School

12月21日(火)、2学年・D組の生徒を対象に、公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター主催の「あすチャレ! School」が行われました。夢をもつことや仲間と助け合うことの重要性を理解することとともに、パラアスリートとの交流を通してパラスポーツを楽しむ心を養うことなどを目的とした体験型出前授業です。今回は講師として、2000年シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志さんをお迎えして、講演を行っていただきました。

<講師紹介>



根木 慎志 さん

岡山県出身。高校3年生の時、突然の交通事故で脊髄を損傷、以後車いすの生活となるが、知人の勧めで車いすバスケットボールに出会う。現役時代から「出会った人と友達になる」というライフテーマをモットーに、全国各地の小中高等学校を訪れ、講演やパラスポーツ体験授業などを行っている。日本パラリンピック委員会運営委員も勤めている。

<あすチャレ! Schoolの授業より>

前半は、根木さんに競技用車いすの説明などをしていただき、その後、生徒一人一人が競技用車いすの試乗体験をしました。両手で車輪を操作し、生徒たちは苦勞しながらも前進したり、回転したりしていました。また、代表生徒による5対5の車いすバスケットボールのミニゲームも行いました。前進、回転するだけでも難しいのですが、根木さんやスタッフのサポートのもとでパスしたり、シュートを何本も打ったりすることができました。「操作が難しかったけど楽しかった」、「みんなの応援が嬉しかった」など、充実感のある表情をしている生徒が多かったです。

後半は、根木さんがパラスポーツと出会ったきっかけや講演活動を通しての経験、東京パラリンピックの閉会式などについてお話していただきました。その中で、「車いすが障がいになるのではなく、世の中の環境が障がいになっている」というお話や、「応援できる人は、応援の大切さを知っているから」、「できないことが恥ずかしいことなのではなく、できないからこそできるようになる楽しさを知ってほしい」など、心に残るメッセージをたくさんいただきました。



<< 生徒感想より >>

- ・障がいをつくっているのは私たち自身で、障がいをなくすことができるのも私たち自身だというお話がとても印象的でした。
- ・何事にも失敗を恐れずに挑戦する心が大切だということを改めて感じました。
- ・いろいろなことにチャレンジして、自分だけにしかない「翼」を大切にしていきたいです。